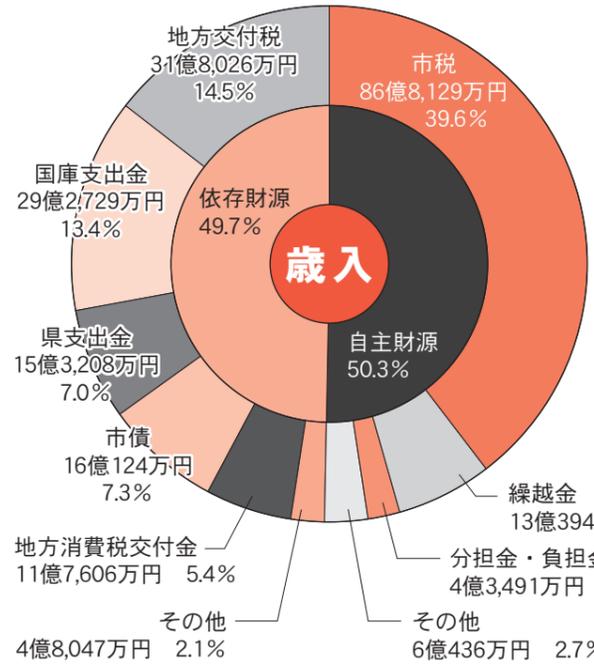
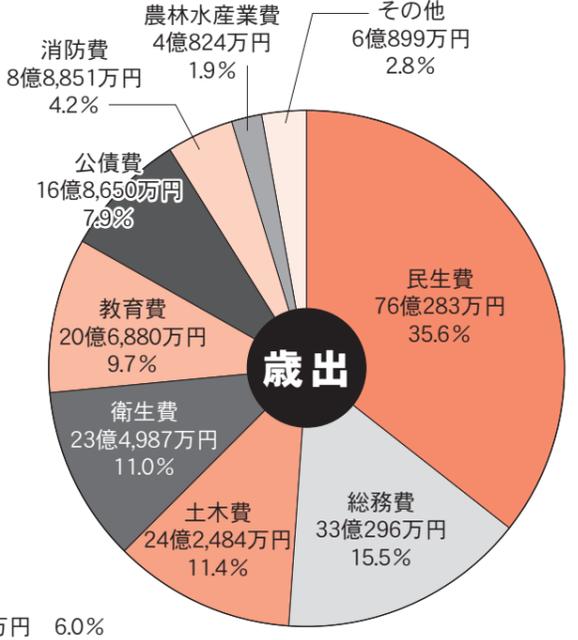


平成27年度 羽島市一般会計決算

▼ 歳入 ▼
219億2,190万円



▼ 歳出 ▼
213億4,154万円



平成27年度 会計別歳入歳出決算

会計別	歳入 (収入済額)	歳出 (支出済額)
一般会計	219億2,190万円	213億4,154万円
特別会計	90億7,838万円	86億7,347万円
国民健康保険	44億5,473万円	43億6,681万円
介護保険	515万円	311万円
簡易水道事業	24億8,667万円	23億8,385万円
下水道事業	2,464万円	2,464万円
羽島市・羽島郡二町介護認定審査会事業	1億599万円	6,416万円
インター北土地区画整理事業	1億4,150万円	1億1,498万円
駅北本郷土地区画整理事業	6億2,266万円	6億725万円
後期高齢者医療	60億3,924万円	62億1,422万円
収益的収支	9,637万円	3億4,121万円
資本的収支	7億5,903万円	5億3,463万円
病院事業	1億2,026万円	4億7,087万円
収益的収支		
資本的収支		
上水道事業		
収益的収支		
資本的収支		

平成27年度

決算報告

平成27年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が市議会で認定されました。羽島市の決算状況についてお知らせします。

問い合わせ先 財務課 (内線2382)

一般会計 歳入

歳入全体の決算額は219億2190万円、前年度と比べて3億7950万円、約1.8%上昇しました。歳入には、地方公共団体が自主的に収入することができ、市税や手数料などの自主財源と、国や県から交付される依存財源があります。自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保できます。27年度の歳入決算額に占める自主財源の割合は、前年度より3.3ポイント低い50.3%となりました。内訳を見ると、依存財源である地方消費税交付金が増加し、自主財源である市税の減少により、自主財源比率は前年度より低くなっています。

歳出

歳出の決算額は213億4154万円、前年度と比べて11億308万円、5.5%の増加となりました。歳出を目的別に見てみると、保健医療や福祉等の民生費が最も比率が高く35.6%を占め、前年度と比べて2億2558万円増加しています。次いで総務費が15.5%、土木費が11.4%を占めています。借金の返済額である公債費は、7年連続で減少しており、前年度と比べて1億8184万円減少しています。

市民1人当たりの負担状況

市民1人当たりの市税の負担は、12万6932円で、前年度と比べて334円の負担増となっています。過去5年間の推移は、グラフ「市民1人当たりの市税負担額の推移」のとおりです。

市債の現在高状況

27年度一般会計決算での市債現在高(借金の残高)は、約162億円となりました。今後も借入残高が過度に増大しないよう計画的に活用し、健全な財政運営に努めます。

特別会計

特別会計のうち、国民健康保険は、前年度と比べて歳出が拠出金の増などから11億561万円(15.4%)、介護保険は、前年度と比べて歳出が介護給付費の増などから1億9730万円(4.7%)、それぞれ増加しました。簡易水道事業は、桑原町西小敷地区での水道供給事業によるものです。

企業会計

企業会計は、公共の福祉の増進を目的として独立採算で運営されている事業の会計で、羽島市は病院事業と上水道事業の二つがあります。

財政力指数

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指数です。標準的に徴収が見込まれる税収入額を、行政サービス・施設の維持等を行うための需要額で割って得た数値の過去3年間の平均で算定します。この指数が高いほど、財源に余裕があるといえます。

